



申 おかげさま

原中学校便り R3.10.22
No.9 文責 古清水 巖

体調管理に気をつけて

「先生、今朝0度でした」と、18日の朝、体を丸めながら登校した生徒から声をかけられました。いよいよ冬将軍の到来と言ったところでしょうか。

10月も下旬を迎え、寒さが増すとともに、朝夕・お昼との寒暖差が大きいように感じます。上手に防寒着を着用して、健康管理に努めていきたいものです。また、寒かったり、厚着をしたりすることで、とっさの動きが難しくなりますので、交通安全にも十分気を配っていきましょう。

より良い授業を目指して

過日10月14日は、諏訪全体の先生方の研修会のためお休みとなりました。

原中学校では、3年2組の皆さんに登校いただき、技術科の授業を参観する中で、受け持つ普段の授業を見返す機会としました。

本校では「全ての生徒が、安心して自分らしく教育を受けられるように」を目指して、学習を進めています。そのために、何をしていけば良いのかを考え、できることを少しずつ実践しています。

長野県では「信州型ユニバーサルデザイン（「ユニバーサルデザイン」は、障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいようあらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方ですが、これを学校の授業等にも置き換えて考えています）に配慮しながらの授業づくり」を大切にしていることから、それらも先生方と共有しながら授業に生かそうとしています。タブレット利用もまさにそうです。



アプリによるアンケート制作と分析

<本校で実践している事項>

- 教室環境・座席の配置の配慮
 - ・黒板周辺をすっきりさせる
 - ・ロッカーや棚を整頓する
 - ・予定黒板等で先を見通せるようにする
- 関係づくりと対話力向上への配慮
 - ・「はらっこタイム」による対話活動の実施
→ルールを用いたグループでの対話活動
- 時間割編成での配慮
 - ・配慮が必要な教科を別教室で受講 等

☆大事にしている考え方

身長が高い人・平均的な人・低い人が塀のあるところで、何かを観戦しています。その際、身長の高い人には踏み台は必要ありません。平均的な人にはちょっとした踏み台、低い人には高い踏み台（合理的配慮）があると、みんなが同じように観戦することができそうです。塀を網にすることも良いかもしれません。

そんな配慮を教育の現場でも大事にしたいという考えです。

NZ プケコへとオンライン交流



例年行っているニュージーランドプケコへ渡航は、昨年度中止となりました。そして、本年度も残念ながら中止が決定しました。

しかし、交流できる相手があります。そこで、本校 ALT のマーク先生・英語科の先生が中心となってオンラインでの交流を進めていくことになりました。

NZ（ニュージーランド）との時差はわずか。授業中でも交流は可能であると、カリキュラムを考慮する中で実施をお願いしています。日本のそして原村の素敵なところを紹介したり、プケコへのことを聞いたりする中で、お互いの文化を知り合う交流を進めてほしいと思います。そして、可能であれば、来年のもみの木祭で、実際に通信交流ができれば面白いのではないかと、密かに思っています。

自分ができることを

～原村社協のきずなチャンネル
手と手と手！～ 菅原先生出演

原村社会福祉協議会では、支え合える地域づくりに役立つ内容を企画し、地元 LCV での番組制作を行っています。11 月は「福祉教育」を取り上げ、「温かい気持ちよ届け！『タオル帽子物語』」のテーマでの番組を制作しました。そして、その番組に本校の菅原先生が出演します。（11 月火・水・木・金 午後 4 時～4 時 15 分）

菅原先生は、高校生の時に「タオル帽子」と出会い、以降そのタオル帽子の大切さを話したり、実際に制作をしたりしてきています。「タオル帽子」は、抗がん剤の副作用で髪の毛が抜け落ちる「脱毛」のために有効で、がん患者さんの心のゆとりにもつながるものだそうです。菅原先生は、その「タオル帽子」活動を原村でも普及させたいと、原村社協さんと連携をとる中、「タオル帽子サロン原村支部」を立ち上げ活動を開始しています。今回の出演で、「より多くの皆さんにも関心を持ってもらいたい」と、お話されています。「誰かのために、自分ができること」、11 月は人権教育月間です。誰かのためにになっている自分を探してみる機会としたいですね。



菅原先生と社協の関さん

学校応援団ミーティング開催 10 月 29 日(金)18:30～19:30

オンライン (Zoom) にて、学校応援団ミーティングを開催します。村内の全家庭配付の公報に差し込まれた“学校応援団だより 11 月号”でも、お知らせしています。

多くの皆さんに、小・中いろいろな形でご支援をいただいています。そして、今後もより良い形で子どもたちと関わっていただきたいと願っています。しかし、コロナ禍ということもあり、様々な情報を共有することができていないことが残念です。

今回、オンラインミーティングを開催して、少しでも学校応援団について知っていただこうと考えました。オンライン参加がかなわない方は、学校においでいただこうと考えています。詳細は、教頭内川または教務主任平塚まで連絡をお願いします。

(☎ 0266-79-2455)